

向日葵

ひ ま わ り

第14号

平成24年7月27日発行

発行所
三条市農業委員会



就任のあいさつ

三条市農業委員会 会長

野崎 文夫



5月1日に開催
されました農業委
員会初総会におき
まして、会長とい
う大役を拝命する
ことになりました。微力ではありますが、
三条市農業の発展と農業者の地位向上の
ため努力いたします。

農業の現状をみますと所得の減少、農
業従事者の減少・高齢化の進展、耕作放
棄地対策、TPP交渉のゆくえ等、多く
の課題が山積しております。

また、国の農業のあり方を方向付ける
「我が国の食と農林漁業の再生のための
基本方針・行動計画」により、今年度か
ら「人・農地プラン」の取組が始まりま
した。今後は、食料の安定供給の確保、
持続可能な力強い農業の実現や6次産業
化など、農業の果たすべき役割が強く求
められております。

私も農業委員は農業者の代表とし
て、農業所得向上と地域経済の発展に貢
献できる活動が重要と考えております。
このため他産業との連携による農産物の
高品質・高付加価値化、販路開拓、食育
推進等による農業の確立を推進してい
ます。今後ともご支援ご協力をお願い
申し上げます。

スタート

一般選挙は無投票当選となりました
新農業委員、新役員を紹介します。
(平成24年6月29日現在)



① 村井善一郎
② 東本成寺



① 廣川 哲也
② 金子新田

① 氏名
② 住所
③ 委員種別
(選任者のみ)

会長	野崎 文夫	農政対策部会
会長代理	坂井 和弘	部会長
第一調査部会		部会長代理
部会長	村山佐喜雄	小師 勉
部会長代理	藤田 吉則	熊倉 睦
第二調査部会		三糸市農業者年金加入推進部
部会長	刈屋 一夫	部長
部会長代理	五十嵐俊雄	山田 佳典
第三調査部会		小師 勉
部会長	村井善一郎	佐藤 裕雄
部会長代理	金子 純一	大桃 伸之
		佐藤 満
		原 正利
		佐藤 満
		大桃 伸之
		佐藤 裕雄
		小師 勉
		山田 佳典
		佐藤 裕雄
		大桃 伸之
		佐藤 満
		原 正利
		佐藤 満

下田地域



① 佐藤 満
② 中野原



① 清水 栄
② 桑切
③ 選任 (農協)



① 刈屋 一夫
② 長沢



① 蒲澤 正
② 駒込



① 阿部眞佐雄
② 上大浦



① 大竹 一雄
② 牛野尾



① 坂井 和弘
② 笠掘



① 目黒 伸一
② 北五百川
③ 選任 (土改)



① 佐藤 裕雄
② 荒沢



① 大竹 正信
② 島川原



① 熊倉 睦
② 新屋

新体制が

任期満了に伴う、三条市農業委員会
た。市長選任の委員5名も決まり、

三条地域



① 野崎 文夫
② 林町二丁目



① 五十嵐俊雄
② 塚野目五丁目



① 鶴巻 純一
② 西潟



① 田邊 稔
② 井栗一丁目



① 鶴巻 俊樹
② 井栗三丁目
③ 選任（議会）



① 大桃 伸之
② 三貫地新田



① 藤田 吉則
② 月岡四丁目



① 捧 譽
② 北入蔵一丁目



① 渡邊 一英
② 下保内



① 阿部銀次郎
② 上保内
③ 選任（議会）



① 野水 敏秋
② 下須頃



① 山田 佳典
② 井戸場

栄地域



① 星野 英治
② 千把野新田



① 原 正利
② 芹山



① 阿部新一郎
② 鬼木新田



① 村山佐喜雄
② 尾崎



① 小林 六一
② 福島新田丁



① 高山 博
② 新堀
③ 選任（共済）



① 山ノ内 正
② 福島新田乙



① 内山 清
② 矢田



① 金子 純一
② 蔵内



① 小師 勉
② 帯織

平成24年度 農業委員会 事業計画決まる

I 基本方針

円高の影響など、長引く経済不況の中で、農業を取り巻く情勢も従事者の減少、高齢化、耕作放棄地の増加など問題が深刻化し、厳しさを増している中で、農業者の公的代表機関として法律による事務を遂行することは勿論のこと、現場重視の提案・要請活動の取組や「目に見える活動」「実行を確保する活動」を強化するとともに、農業者の地位向上に寄与していくことを基本に活動します。

II 事業計画

1 会議関係

- (1) 定例会
- (2) 調査部会
- (3) 正副部会長会議
- (4) 農政対策部会
- (5) 作況調査検討会
- (6) 和解の仲介委員会

2 研修会・講演会の開催

- (1) 農政・消費問題等の講演会を開催
- (2) 委員研修の実施

3 視察研修関係

- (1) 委員研修（1泊2日）
- (2) 県内1日研修
- (3) 正副部会長研修

4 的確な農地行政と構造政策の推進

- 農地転用などの権限移譲や転用規制見直しなどから一層の慎重審査を行う。また、生産性の高い農業経営の実現や農用地を有効利用するため、適正な農地行政を推進し、優良農地確保を図る活動を行う。
- (1) 農地の権利移動案件の意見決定に当たっては慎重審査
 - (2) 農地転用案件の意見決定に当たっては、農家及び市勢の発展など総合的判断のうえ審査
 - (3) 無断転用と遊休農地（耕作放棄地）防止・解消に向けた活動
 - (4) 農政政策見直しに対して、農地制度の根幹維持を求める活動

5 農政対策の推進

- (1) 農業者の立場に立った建議、意見公表、要望活動の実施
- (2) 新しい農政改革三対策へ

の的確な対応

- (3) 農林関係予算の確保対策
- (4) 担い手（法人）確保・育成に向けた取組
- (5) 環境にやさしい農業と安全・安心な農業の振興
- (6) 地産地消活動及び食農教育の推進
- (7) 農産物の付加価値向上に関する取組
- (8) その他必要な取組

6 農地銀行活動事業の充実

規模拡大に意欲ある農業者のため、農地銀行活動事業をより一層充実する。

7 啓発活動の充実

農業委員会だより「向日葵」編集強化で啓発活動の充実を図る。

8 農業者年金業務の推進

農業者年金業務を適性かつ、円滑に推進するため、加え推進部長を中心として、次の事業を行う。

- (1) 新農業者年金制度の普及と定着
- (2) 新農業者年金加入者の拡大及び目標（18人）の達成
- (3) 年金相談活動の充実
- (4) 新規受給者を対象とした

研修会の開催

9 「全国農業新聞」等の普及拡大

「全国農業新聞」及び「全国農業図書」の普及拡大に努め、農業者への情報提供活動を推進

10 農地等情報管理システムの補正整備

農地の権利関係を的確に把握し、農地・農家等に関する情報の管理を図る。

●下限面積（別段面積）について

農業委員会では、2月の総会において、下限面積設定の必要性について、検討した結果、法律の原則面積「50アール」は変えないという結論となりました。

▼人、農地プランを 作りませんか

高齢化や後継者不足の問題で、「5年後、10年後の地域展望が描けない」など、皆さんの地域はいかがでしょうか？

〈農業委員担当地域表〉

地域	担当委員	電話	担 当 区 域	地域	担当委員	電話	担 当 区 域
三条地域	野崎 文夫	33-2485	荒町・石上・栗林1・栗林2・ 上田島・東三条・北中・興野・ 一ノ木戸・裏館・新光・嘉坪川・ 島田・西本成寺1～西本成寺3・ 四日町・東新保・曲淵・北新保・ 南新保・直江町	栄地域	阿部新一郎	45-2840	鬼木新田・鬼木
	五十嵐俊雄	32-9820	塚野目1～塚野目8		村山佐喜雄	45-2228	尾崎・今井・今井野新田・ 泉新田・岡野新田・貝喰新田
	鶴巻 純一	38-6848	鶴田1～鶴田3・下谷地・西潟・ 敦田・牛ヶ島・三柳		小林 六一	45-3442	福島乙・新堀・東光寺・ 若宮新田
	田邊 稔	38-8707	井栗西部1～井栗西部4 井栗中部1～井栗中部3		高山 博	45-3398	福島甲・福島丙 一ツ屋敷新田・猪子場新田
	鶴巻 俊樹	38-8481	井栗東部1～井栗東部3・北野・ 白山		山ノ内 正	45-2729	小滝・高安寺・大面・北潟・矢田
	大桃 伸之	38-3836	須戸・柳場・柳川1～柳川4・三貫地		金子 純一	45-2793	吉野屋・蔵内・茅原・戸口・安代
	村井善一郎	34-3507	東本成寺・土場・西中・五明・ 下新田・片口・新保・枝郷・ 緑ヶ丘・吉田		小師 勉	45-2132	前谷内・帯織・山王・岩淵・栄萩島
	廣川 哲也	34-2378	東鱈田・金子・袋・南入蔵・入蔵 西鱈田・長嶺		佐藤 満	46-2466	檜山・花測・上組・中組・ 下組・中野原・萩堀上・ 萩堀下
	藤田 吉則	34-0781	如法寺・月岡・諏訪		清水 栄	46-2564	原上・原下・桑切
	捧 譽	38-6924	東明寺・中東・田中・合屋・上野 原・向ヒ村・高田・三竹・下坂井・ 北入蔵・麻布・籠場・中新・漆島・ 西大崎		刈屋 一夫	46-2949	笹巻・福沢・大沢・長沢
	渡邊 一英	38-8167	成沢道上面・布施谷・布施和田・ 二ツ山・本所・中村・中央・ 赤坂宮ノ浦		溝澤 正	46-3228	駒込上・駒込中・駒込下・広手・大平
	阿部銀次郎	38-8910			阿部眞佐雄	46-3839	高屋敷・滝谷・島潟・福岡・ 高岡・下大浦・馬場・上大浦
	野水 敏秋	34-0941	上須頃上・上須頃東・上須頃中 上須頃下・下須頃上・下須頃下		大竹 一雄	47-2460	運場・律谷・濁沢・早水・ 牛野尾・長野・庭月・八木前
栄地区	山田 佳典	34-3972	大島1～大島3・萩島上・萩島下 代官島上・代官島中・代官島下・ 井戸場	下田地域	坂井 和弘	47-2715	名下・栗山・塩野測・笠堀・ 大谷地・南五百川・ 北五百川・院内
	星野 英治	45-3537	小古瀬・中島・千把野新田		目黒 伸一	47-2555	森町・田屋・棚鱗・荒沢・小長沢
	原 正利	45-2345	善久寺・芹山・渡前・中曽根新田		佐藤 裕雄	46-3863	江口・島川原・南中・上飯田・ 中飯田・下飯田・鹿峠
					大竹 正信	46-4512	小外谷・曲谷・牛ヶ首・落合・ 上谷地・蝶名林・中浦・新屋・ 鹿熊
					熊倉 睦	46-4131	

農地・農年に関する
相談は農業委員へ！

農地に関する売買あっせん、貸し借り、
転用、農業者年金等の相談に応じます。

地域の皆さんが話し合って「人と農地の問題」を解決する地域マスタープランを作りませんか。農業委員、農業委員会がお手伝いをします。

☆集落・地域の話し合いによって、次のことなどを決めます。

- ① 今後の中心となる経営体（個人、法人、集落営農）はどこか
- ② 中心となる経営体への農地の集め方
- ③ 中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めた地域農業のあり方

▼人、農地プランには、色々なメリットがあります。

☆人・農地プランに位置づけられると、

- ① 青年就農給付金（経営開始型）
- ② 農地集積協力金（中心となる経営体に農地を提供する方）
- ③ スーパーL資金の5年間無利子化（認定農業者）などの支援が受けられます。

▼計画は随時見直しができます。

最初から完全なプランでなくとも、必要なところから始めて、順次拡大していくことで構いません。

※詳しくは、市農林課または農協へお問い合わせください。

日本全国で猛威をふるった暴風。三条市内も4月3日から風が強くなり、午後9時9分には瞬間最大風速で26・1メートル（消防本部調べ）を観測した。

今回の暴風は通称、爆弾低気圧と言われ、24時間に中心気圧が24

ヘクトパスカル以上低くなる温帯低気圧（新聞紙面）の事。

農業関係では、ビニールハウスの被害が数多く発生し、大打撃を受けました。まさに育苗作業の始まる時期、それと資材不足で田植えの遅れが懸念されました。

昨年は水害、今冬は大雪、今回の暴風、他県では竜巻、本当に自然が変わっているように思えます。

人間は自然から生かされているのだから、何が起きても対応し立ち向かって行かなければならないと思います。

しかしながら地球という素晴らしい自然を人間が破壊する事は決して許されな

いだろう。
無事に田植えも終わり、5月末には、早苗が水田の中で青々と輝き、元気な姿を見せていた。

（金子）

水田の景観を保つ雑草対策

水田畦畔の雑草対策は、一般的には、除草剤を使った管理や、草刈による管理が行われていると思われ。

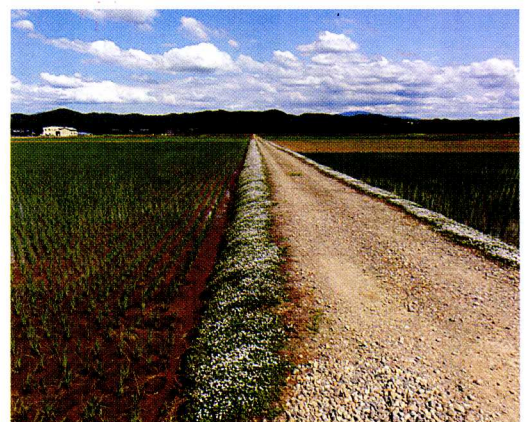
今回、雑草が生えにくく環境に配慮した、法面被覆植物「ヒメイワダレソウ」は、常緑の多年草で、草丈は低く、茎は地表を這って伸びていく。成長は早く繁茂する。排水良好で日当たりの良いところを好み、湿潤土壌や日陰には適さない。花は白く小花で6月から9月頃まで無数に咲く。種子は結実しないが、株分けや茎さし等で容易に増殖させられる。また、高温植物ではあるが根雪日数120日でも越冬する。消雪後は葉はすべて枯死し、ほふく茎も茶褐色に枯れた状態となるが、気温上昇と共に新葉が発生する。

導入にあたっての留意事項としては、植え付け前には植栽しようとする場所に除草剤を散布するな

どして、雑草を完全に駆除しておくことが最も重要であり、防草シートを下地に敷きつめ切り込みを入れた後に植栽する方法もある。なお、被覆率100%になるまでは除草が必要であり多肥にすると生育は早い草丈が伸びすぎ、ムレによる枯死が発生することがある。ミツバチ等の訪花昆虫が好んで寄ってくるので、スイカ・メロン等の産地でミツバチを導入している場合、「ヒメイワダレソウ」と隣接して栽培すると着果不良を招く場合があるので注意する必要がある。

この様な植物を植栽することにより美しい水田畦畔が保たれる。

（阿部新）

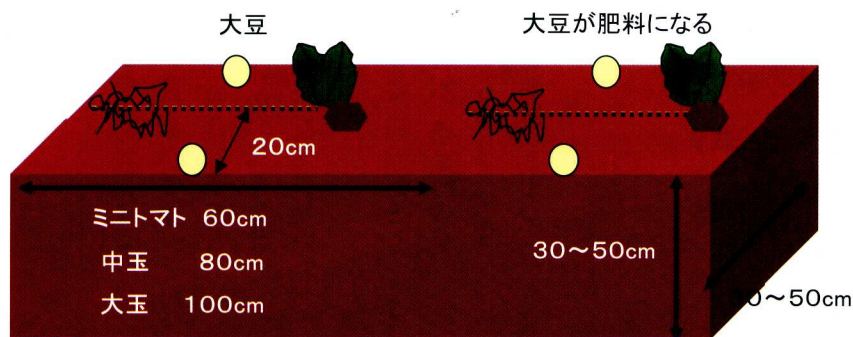


苗を横植え！

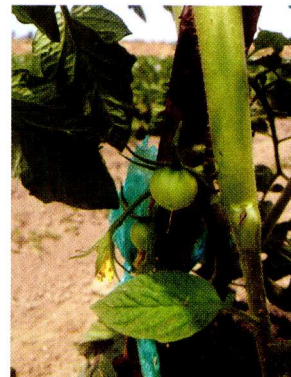
ひだわり栽培

トマト編

保存版

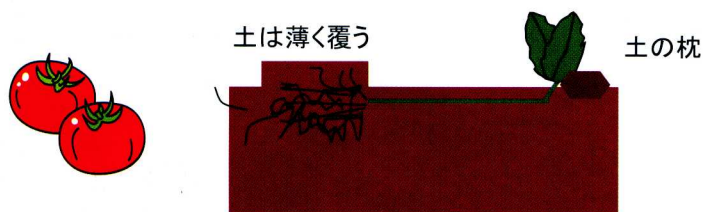


畝はなるべく高く



栽培の手順

- 1 30 ~ 50 cmの高い畝を作る。
- 2 苗の先端の葉を残し、全て切り落とす。切り口を数分乾かす。
- 3 根を水に浸す。水やりはこれ1回で栽培の最後まで不要。
- 4 苗を横にして、茎にも薄く土をかぶせる。深く植えない。
- 5 頭頂部に土で枕。(病虫害予防)
- 6 苗1つに対して大豆を2粒、畝の両端あたりに1個ずつ植える。
- 7 頭頂部が起きてから2日以内に支柱を結ぶ。



苗を横にして植える



上の葉だけ残しさみしくなった苗

補足

- 1 苗が小さい間、花は摘み取る。
- 2 初心者は苗から育てる。自分で種とりができるようになったら種から育てる。



新たに根から生えた大量の根。



大豆の根についた根粒菌がトマトの肥料になる。

栽培のポイント

- 1 トマトの原産地は降水量の少ない南米アンデスで湿度を嫌うので、高畝にする。
- 2 苗の葉を取って横植えし根量を増やす。(不定根の利用)
- 3 苗1つに対して大豆2粒を肥料目的で植える。(根に着く根粒菌が肥料となる)

9月1日 農地利用状況調査を 実施します

平成22年度から農業委員による農地利用状況調査を行っています。全農地を対象に、耕作放棄をして農地が荒れてないか、適正な管理がされているか、不法投棄が無いなどの調査をします。

今年は重点地域を下田地区として、現場調査を行い、農地への立入やお話を伺うこともありますが、ご理解とご協力をお願いします。

● 申請書の締め切り日は毎月10日です

農地の所有権移転や農地転用許可申請などの締め切りは毎月10日（10日が休日の場合は翌日又は翌々日）となっています。

農地の売買、貸借などの締め切り日

農地法第3条、4条、5条、基盤強化法関係

8月10日(金)	9月10日(月)
10月10日(水)	11月12日(月)
12月10日(月)	1月10日(木)

総会開催日

7月31日(火)	8月31日(金)
9月28日(金)	10月31日(水)
11月30日(金)	12月27日(木)
1月31日(木)	2月28日(木)



H24. 4. 6 下田地区 クリーン大作戦

「農地のクリーン作戦」 展開

4月6日、農地に捨てられた空き缶などのゴミを回収する「農地のクリーン作戦」を実施。農業委員ら総勢34人が、三条地区、栄地区、下田地区の3班に分かれ、ゴミ袋を手にも、雪のちらつく中、1地区平均11kmの行程をきれいにしました。



生産だけでなく、農業ビジネスを女性の視点から魅力あるものへと熱く伝える。

山形ガールズ農場 代表 菜穂子さん
5月27日 三条東公民館で三条まんま塾

(食と農の連携協議会) 主催の講演会がありました。塾は、食育によって、市民が健康で、農業が盛んな、「生き生きとしたまち三条」を目指しています。

編集後記

今年は日本全体が震災からの復旧・復興の年であり、三条市でも昨年の7・29水害からの復旧の年でもあります。今年作付けできなかった各所で農地の復旧工事が進められています。

これとは別に、「担い手不足」について、国が新規就農者や地域・集落を支援する形で今年から「人・農地プラン」として始まりました。この取り組みには他に農地集積の促進や融資制度の優遇なども考慮されています。農業者の高齢化や耕作放棄地増加にもストップがかかることを期待します。

また農業委員会は新しい3年の初年度ということで気持ちを新たに、適正な農地行政に努めるとともに農業・農村・農業者の振興のために役立つ情報を各農業委員と「向日葵」を通じて提供していきたいと思っています。

委員長	大竹 正信
副委員長	田邊 稔 金子 純一
委員	廣川 哲也 渡邊 一英
	内山 清 阿部新一郎
	阿部眞佐雄 蒲澤 正